

基礎科目〈コア・イングリッシュ〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
TOEIC/TOEFL入門 1	a		13806	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
後藤 江里	必修	1				

授業の到達目標

TOEIC (R) Listening & Reading Testスコア400点到達を目指す。そのために必要な英語力（特にTOEIC必須英単語と読解力）の習得と問題への取り組み方、学習のコツを身につける。またTOEFL受験のための英語力強化を目指す。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

授業の概要

到達目標を目指し、必須語彙や文法事項を身につけていく。頻出の場面設定や文書ごとの語彙、言い回しに習熟し、TOEICテスト形式の問題演習を組み入れていく。単語テストは基本的に毎回実施する。

授業計画

- Unit 01 人物の動作と状態／表・用紙
- Unit 02 疑問詞を使った疑問文／広告
- Unit 03 日常場面での会話／品詞
- Unit 04 アナウンス・ツアー／動詞
- Unit 05 物の状態と位置／チャット
- Unit 06 基本構文と応答の決まり文句／手紙・Eメール
- Unit 07 電話での会話／代名詞・関係代名詞
- Unit 08 ラジオ放送・宣伝／接続詞・前置詞
- Unit 09 Yes/NO疑問文／ダブルパッセージ(2つの文書)
- Unit 10 オフィスでの会話 1／Part 5の復習
- Unit 11 留守番電話／トリプルパッセージ(3つの文書)
- Unit 12 オフィスでの会話 2／Part 7の復習
- Unit 13 Part 1とPart 2の復習／時制・代名詞・語彙問題
- Unit 14 トーク・スピーチ・会議の一部／つなぎ言葉・文の挿入
- 復習、期末考査

授業の方法

問題演習や音読、その場での暗記などの「作業」が中心となる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき、平常点と定期試験点より算出した評価点から2点減点する。

テキスト

Mastery Drills for the TOEIC L&R Test All in One（桐原書店）、TOEIC L&R TEST出る単特急 銀のフレーズ（朝日新聞出版）、Basic Grammar in Use（Cambridge University Press）

参考図書

授業時に必要に応じて紹介する。

留意事項

ダウンロード音声を用いて確実に復習すること。毎回、英和辞書を必ず持参すること。

基礎科目〈コア・イングリッシュ〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
TOEIC/TOEFL入門 1	b		13806	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
和泉 有香	必修	1	著書執筆、専門学校講師、企業派遣講師			

授業の到達目標

TOEIC (R) Listening & Reading Testスコア400点到達を目指す。そのために必要な英語力（特にTOEIC必須英単語と読解力）の習得と問題への取り組み方、学習のコツを身につける。またTOEFL受験のための英語力強化を目指す。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

授業の概要

到達目標を目指し、必須語彙や文法事項を身につけていく。頻出の場面設定や文書ごとの語彙、言い回しに習熟し、TOEICテスト形式の問題演習を組み入れていく。単語テストは基本的に毎回実施する。

授業計画

- Unit 01 人物の動作と状態／表・用紙
- Unit 02 疑問詞を使った疑問文／広告、単語テスト1
- Unit 03 日常場面での会話／品詞、単語テスト2
- Unit 04 アナウンス・ツアー／動詞、単語テスト3
- 進捗調整、単語テスト4
- Unit 05 物の状態と位置／チャット、単語テスト5
- Unit 06 基本構文と応答の決まり文句／手紙・Eメール、単語テスト6
- Unit 07 電話での会話／代名詞・関係代名詞、単語テスト7
- Unit 08 ラジオ放送・宣伝／接続詞・前置詞、単語テスト8
- 進捗調整、単語テスト9
- Unit 09 Yes/No疑問文／ダブルパッセージ(2つの文書)、単語テスト10
- Unit 10 オフィスでの会話 1／Part 5の復習、単語テスト11
- Unit 11 留守番電話／トリプルパッセージ(3つの文書)、単語テスト12
- Unit 12 オフィスでの会話 2／Part 7の復習、単語テスト13
- 復習、期末考査

授業の方法

問題演習や音読、その場での暗記などの「作業」が中心となる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき、平常点と定期試験点より算出した評価点から2点減点する。

テキスト

Mastery Drills for the TOEIC L&R Test All in One（桐原書店）、TOEIC L&R TEST出る単特急 銀のフレーズ（朝日新聞出版）、Basic Grammar in Use（Cambridge University Press）

参考図書

授業時に必要に応じて紹介する。

留意事項

ダウンロード音声を用いて確実に復習すること。毎回、英和辞書（紙版、電子辞書）を必ず持参すること。

基礎科目 <コア・イングリッシュ>	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
TOEIC/TOEFL入門 2	b		13807	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
和泉 有香	必修	1	著書執筆、専門学校講師、企業派遣講師			

授業の到達目標

TOEIC (R) Listening & Reading Testスコア450点到達を目指す。
そのために必要な英語力（特にTOEIC必須英単語と読解力）の習得と問題への取り組み方、学習のコツを身につける。またTOEFL受験のための英語力強化を目指す。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

授業の概要

到達目標を目指し、必須語彙や文法事項を身につけていく。頻出の場面設定や文書ごとの語彙、言い回しに習熟し、TOEICテスト形式の問題演習を組み入れていく。単語テストは基本的に毎回実施する。

授業計画

- 1 Introduction
- 2 Unit 1 Shopping
- 3 Unit 1 Shopping
- 4 Unit 2 Office Work
- 5 Unit 2 Office Work, Unit 3 Transportation
- 6 Unit 3 Transportation
- 7 Unit 3 Transportation
- 8 TOEIC Mini Test
- 9 Unit 4 Travel & Eating Out
- 10 Unit 4 Travel & Eating Out, Unit 5 Meetings
- 11 Unit 5 Meetings
- 12 Unit 6 Web Sites
- 13 Unit 6 Web Sites, Unit 7 Advertising
- 14 Unit 7 Advertising
- 15 期末考查

授業の方法

問題演習や音読、その場での暗記などの「作業」が中心となる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点（小テスト）50%、試験（Mini Test, TOEIC IPテストを含む）50%

欠席について

欠席1回につき、平常点と定期試験点より算出した評価点から2点減点する。

テキスト

Smart Route to the TOEIC® L&R Test（Cengage Learning）、
TOEIC L&R TEST出る単特急 銀のフレーズ（朝日新聞出版）、
Basic Grammar in Use（Cambridge University Press）

参考図書

授業時に必要に応じて紹介する。

留意事項

ダウンロード音声を用いて確実に復習すること。毎回、英和辞書（紙版、電子辞書）を必ず持参すること。

基礎科目 <コア・イングリッシュ>	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Pronunciation 204			13916	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
和泉 有香	選択	2	専門学校講師、社団法人国際英語発音協会理事			

授業の到達目標

日本語と特に違いの大きい子音と母音の発音に習熟し、相手に伝わりやすい発話ができることを目標とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）とIn（国際性）を涵養する。

授業の概要

英語音声に関する実践的訓練を行い、「伝わる」英語発音を目指す。

授業計画

- 1 ガイダンス、U1「口の中を意識する」、U2「英語らしい音」
- 2 U4「thankのth」、U5「thisのth」
- 3 U6「feelのf」、U17「appleのa」
- 4 U7「visitのv」、U18「upのu」
- 5 U8「rightのr」、U9「liveのl」
- 6 U19「birdのir」
- 7 U10「practiceのpr」、U20「carのar」
- 8 U11「playのpl」、中間考查
- 9 U12「rとl（応用編）」
- 10 U21「あいまいな母音」
- 11 U13「woodのw」、U22「lowのowとlawのaw」
- 12 U14「inのn」、U23「itのiとeatのea」
- 13 U15「singerのng」、U24「footのooとfoodのoo」
- 14 U16「まぎらわしい子音s,z,t」、Part 3の復習
- 15 Part 2の復習、期末考查

授業の方法

リズムと強勢を意識し、多くの演習と音読練習を行う。また練習と復習の成果をチェックするため毎回個人的に発音チェックを行う。

準備学修

Webで参照すること

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

ふだんの練習の積み重ねを重視するため、欠席1回につき、平常点と定期試験点より算出した評価点より2点減点する。

テキスト

静哲人著『発音入門 音トレーニングドリル』（アルク）

参考図書

授業時に必要に応じて紹介する。

留意事項

付属CD教材を用いて確実に復習すること。毎回、発音記号が記載されている英和辞書（紙版、電子版など）を必ず持参すること。

基礎科目 <コア・イングリッシュ>	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Pronunciation 304			13924	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
和泉 有香	選択	2	専門学校講師、社団法人国際英語発音協会理事			

授業の到達目標

日本語と特に違いの大きい子音と母音の発音に習熟し、正しいリズムと強勢を伴って相手に伝わりやすい発話ができることを目標とする。また正しい発音を身につけることによってリスニング力を向上させる。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）とIn（国際性）を涵養する。

授業の概要

英語音声に関する実践的訓練を行い、「伝わる」英語発音を目指す。

授業計画

- 1 ガイダンス、Lesson 1 : The Internet
- 2 Lesson 2 : The Development of Computers
- 3 Lesson 3 : A Blend of Cultures
- 4 Lesson 4 : A Famous Old Town
- 5 Lesson 5 : A Pajama Party
- 6 Lesson 6 : Making a Speech
- 7 復習、中間考査
- 8 Lesson 7 : Mika's Speech
- 9 Lesson 8 : Let's Have a Debate!
- 10 Lesson 9 : Ha, ha, ha...
- 11 Lesson 10 : On the Top of the World
- 12 Lesson 11 : Protect Our World
- 13 Lesson 12 : I have a Dream
- 14 Lesson 1 ～6 総復習
- 15 Lesson 7 ～12 総復習、期末考査

授業の方法

リズムと強勢を意識し、多くの演習と音読練習を行う。また練習と復習の成果をチェックするため毎回個人的に発音チェックを行う。

準備学修

Webで参照すること

課題・評価方法、その他

平常点50％、定期試験50％

欠席について

ふだんの練習の積み重ねを重視するため、欠席1回につき、平常点と定期試験点より算出した評価点より2点減点する。

テキスト

國弘正雄著「英会話ぜったい音読 標準編」（講談社インターナショナル）

参考図書

授業時に必要に応じて紹介する。

留意事項

付属CD教材を用いて確実に復習すること。毎回、発音記号が記載されている英和辞書（紙版、電子版など）を必ず持参すること。

基礎科目 <コア・イングリッシュ>	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Oral Communication 400	400-2		13925	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
David John SANDEMAN	必修	2				

授業の到達目標

The course will develop a sense of internationality and autonomy.

授業の概要

The purpose of this class is to develop both listening and speaking skills in a variety of situations. Some specific topics of discussion may include jobs, cultures, vacations, comedy, sports, feelings, and weather.

授業計画

- 1 Introduction
- 2 Unit 7 Holidays, 7.1 Travel partners
- 3 7.2 The longest bike ride
- 4 7.3 Can you tell me the way?
- 5 7.4 Hong Long
- 6 Review
- 7 Presentations
- 8 Mid Term
- 9 Unit 8 Now, 8.1 Having a Great Time
- 10 8.2 What a difference!
- 11 8.3 What do you recommend?
- 12 8.4 Changing Trends
- 13 Review
- 14 Presentations
- 15 Presentations

授業の方法

Students will work individually, in pairs and in groups

準備学修

Be familiar with the textbook: preview and review

課題・評価方法、その他

Your final grade will be determined using the following scale:

Final Exam 20%

Tests and Quizzes 10%

Presentations 40%

Class Participation 20%

Homework 10%

欠席について

As stated in university guidelines, 100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Frances Eagles and Steve Oaks, SpeakOut: Elementary, 2nd edition. (Pearson)

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation is essential

基幹科目〈基幹基礎〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
コミュニケーションと文化			13419	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
佐伯 瑠璃子	必修	2				

授業の到達目標

ことばの意味と文化の関係、様々なかたちで伝えられることばから読み取ることができるその意味や文化を学び、ことばの意味と文化の関係についての関心を高める。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）とIn（国際性）を養う。

授業の概要

私たち人間はこれまでことばと共に進化し、文化を形成してきた。つまり私たちの生活や文化からことばを切り離すことは出来ない。私たちが普段当たり前に目にし、耳にしていることばの意味を探りそこにある文化について共に考えたい。また、同時に異文化理解へのアプローチの一端として、日英の比較を元に文化の類似点や相違点をことばの側面から探り、他文化への関心を深めたい。

授業計画

- 1 イントロダクション
- 2 文化について
- 3 言語とは何か
- 4 コミュニケーションの性質と要素
- 5 言語コミュニケーション
- 6 非言語コミュニケーション
- 7 振り返り
- 8 グローバル化とメディア①
- 9 グローバル化とメディア②
- 10 異文化交流の意味
- 11 差異とアイデンティティ
- 12 多文化共生①
- 13 多文化共生②
- 14 振り返り
- 15 試験

授業の方法

講義形式をとる。また、毎回テーマにあわせた質問事項を提示し、それに対する回答を必須とする。それを元に共に考え、意見交換をする。積極的な授業への参加が求められる。

準備学修

事前学習では、授業の最後に出題される課題について考えてくこと。また事後学習では、テキストや配布資料を元に、授業内容を必ず復習すること。

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき出席点より4点減点する。遅刻・早退も減点対象。

テキスト

池田 理知子・埜幸枝 編著『グローバル社会における異文化コミュニケーション―身近な「異」から考える』（三修社）
適宜ハンドアウトを配布する。

参考図書

授業内で適宜紹介する

留意事項

クラスへの積極的参加、予習・復習が求められる。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

基幹科目〈英語・言語・文化〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
翻訳・通訳論入門			13301	II	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
樫本 雄三／和泉 有香	選択	2	樫本：テクニカルライター、実務翻訳者 和泉：劇団通訳、全国通訳案内士（英語）			

授業の到達目標

樫本：翻訳文作成技術と背景知識調査手法を習得する。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）とIn（国際性）を目指す。
和泉：英語と日本語という構造の全く異なった2言語の中に共通点を見出し、特に英語知識の深化を図ることにより、文字と音声において2言語を自由に行き来する能力を身につける。また日本と日本文化への理解を深める。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）とIn（国際性）の涵養を目指す。

授業の概要

樫本：従来の英文解釈と翻訳との違い、翻訳に必要な発想の転換を学ぶ。和泉：単なる「英文和訳」・「和文英訳」ではない通訳技術の基本と同時に、人前で話すための技術を身につける。

授業計画

- 1 樫本・和泉：ガイダンス、授業の概要
- 2 英文和訳の基本
- 3 SDGs(持続可能な開発目標)
- 4 世界のエネルギー事情
- 5 コロナ後の旅行業界
- 6 スマートシティ
- 7 メタバースとデジタルツイン
- 8 人工知能を使った自動翻訳の現状
- 9 大学生活
- 10 趣味(スポーツ、音楽、読書)
- 11 海外文化
- 12 国際交流(1) 実践演習1
- 13 国際交流(2) 実践演習2
- 14 日本の文化(和食、温泉、回転寿司)
- 15 総復習、期末考査

授業の方法

樫本（前半担当）：事前課題を課し、訳文作成と翻訳内容の検討を行う。和泉（後半担当）：大量の演習と暗唱が中心となる。なお授業計画については柔軟に対応する。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

樫本：定期試験を行わず、最終レポートおよび平常点により評価を行う。和泉：平常点50%、定期試験50%

欠席について

樫本：欠席した回も、その回の課題を提出すれば考慮する。和泉：欠席1回につき、平常点と定期試験点より算出した評価点から2点減点する。

テキスト

樫本：特定のテキストを使用せず、英字新聞、英文雑誌などの記事を教材にする。和泉：オリジナルプリント

参考図書

樫本：「翻訳スキルハンドブック」駒宮俊友著 アルク刊 和泉：授業時に必要に応じて紹介する。

留意事項

樫本：授業計画の内容や順序は状況により変わることがある。和泉：英和辞書（紙版、電子版いずれでも可）を必ず持参すること。

資格科目〈英語・観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
TOEIC/TOEFL 1	ET		13822	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
和泉 有香	必修	2	著書執筆、専門学校講師、企業派遣講師			

授業の到達目標

TOEIC (R) Listening & Reading Test スコア500点到達を目指す。そのために必要な英語力（特にTOEIC必須表現）の習得と問題への取り組み方、学習のコツを身につける。またTOEFL受験のための基礎英語力強化を目指す。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

授業の概要

到達目標を目指し、必須語彙や文法事項を身につけていく。頻出文書ごとの語彙、言い回しに習熟し、TOEICテスト形式の問題演習を組み入れていく。また知識固定の一助とするため音読にも力を入れる。単語テストは基本的に毎回実施する。

授業計画

- Unit 01 人物の動作と状態／表・用紙
- Unit 02 疑問詞を使った疑問文／広告、単語テスト1
- Unit 03 日常場面での会話／品詞、単語テスト2
- Unit 04 アナウンス・ツアー、単語テスト3
- Unit 05 物の状態と位置／チャット、単語テスト4
- Unit 06 基本構文と応答の決まり文句／手紙・Eメール、単語テスト5
- Unit 07 電話での会話／代名詞・関係代名詞、単語テスト6
- Unit 08 ラジオ放送・宣伝／接続詞・前置詞、単語テスト7
- Unit 09 Yes/No疑問文／ダブルパッセージ(2つの文書)、単語テスト8
- Unit 10 オフィスでの会話1／Part 5の復習、単語テスト9
- Unit 11 留守番電話／トリプルパッセージ(3つの文書)、単語テスト10
- Unit 12 オフィスでの会話2／Part 7の復習、単語テスト11
- Unit 13 Part 1とPart 2の復習／時制・代名詞・語彙問題、単語テスト12
- Unit 14 トーク・スピーチ・会議の一部／つなぎ言葉・文の挿入、単語テスト13
- 15 復習、期末考査

授業の方法

問題演習や音読、その場での暗記などの「作業」が中心となる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき、平常点と定期試験点より算出した評価点から2点減点する。

テキスト

Mastery Drills for the TOEIC L&R Test All in One（桐原書店）、TOEIC L&R TEST出る単特急 金のフレーズ（朝日新聞出版）、Grammar in Use Intermediate（Cambridge University Press）

参考図書

授業時に必要に応じて紹介する。

留意事項

・ダウンロード音声も用いて確実に復習すること。・英和辞書（紙版、電子辞書いずれでも可）を必ず持参すること。

資格科目〈英語・観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
TOEIC/TOEFL 2	ET		13823	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
和泉 有香	必修	2	著書執筆、専門学校講師、企業派遣講師			

授業の到達目標

TOEIC (R) Listening & Reading Test スコア600点到達を目指す。そのために必要な英語力（特にTOEIC必須表現）の習得と問題への取り組み方、学習のコツを身につける。またTOEFL受験のための基礎英語力強化を目指す。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

授業の概要

到達目標を目指し、必須語彙や文法事項を身につけていく。頻出文書ごとの語彙、言い回しに習熟し、TOEICテスト形式の問題演習を組み入れていく。また知識固定の一助とするため音読にも力を入れる。単語テストは基本的に毎回実施する。

授業計画

- Unit 01 人物の動作表現／品詞・代名詞
- Unit 02 疑問詞で始まる疑問文／態・分詞、単語テスト1
- Unit 03 店・ホテルでの会話／読解の基礎を身につける、単語テスト2
- Unit 04 留守番電話／詳細情報を特定する、単語テスト3
- 進捗調整、単語テスト4
- Unit 05 物に関する描写／話の展開を読み取る、単語テスト5
- Unit 06 Yes/No疑問文・選択疑問文／接続詞・前置詞、単語テスト6
- Unit 07 日常生活における会話／内容把握に挑戦する、単語テスト7
- Unit 08 アナウンス・宣伝／語彙問題・その他、単語テスト8
- 進捗調整、単語テスト9
- Unit 09 ステートメント・付加疑問文／時制・代名詞・語彙、単語テスト10
- Unit 10 オフィスでの会話①／マルチプルパッセージ(2つの文書)、単語テスト11
- Unit 11 トーク(会議・イベント)／Part 5の復習、単語テスト12
- Unit 12 オフィスでの会話②／つなぎ語・文選択、単語テスト13
- 15 復習、期末考査

授業の方法

問題演習や音読、その場での暗記などの「作業」が中心となる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき、平常点と定期試験点より算出した評価点から2点減点する。

テキスト

Mastery Drills for the TOEIC L&R Test All in One Advanced（桐原書店）、TOEIC L&R TEST出る単特急 金のフレーズ（朝日新聞出版）、Grammar in Use Intermediate（Cambridge University Press）

参考図書

授業時に必要に応じて紹介する。

留意事項

・ダウンロード音声も用いて確実に復習すること。・英和辞書（紙版、電子辞書いずれでも可）を必ず持参すること。